

みんなでやらいや
水田農業わくわくプラン

作成年度 平成29年度

作成者 農事組合法人
エコファームHOSOYA

代表理事 三上 惇二

みんなでやらいや水田農業わくわくプラン

作成者 農事組合法人エコファームHOSOYA

代表理事 三上 惇二

事業主体 農事組合法人エコファームHOSOYA

はじめに（プラン作成に至った経緯等）

細屋集落は広島県、岡山県、島根県に隣接する日南町の中で、日野川の支流小原川の上流に位置し、天気予報で知られるアメダス観測地点（茶屋）がある。標高 480～560m の準寒冷地域であり、農地は一部を除き急傾斜地で生産条件は厳しい環境に有る。また農業者の高齢化、後継者不足、農業収入の不安定化等により集落機能、及び農業生産体制が低下してきた事により、自己完結型農業から平成 18 年集落営農体制への転換を図り、平成 24 年 3 月に法人を設立した。

1 生産経営の現状・課題

1) 生産経営の現状

- ・平成 24 年 3 月農事組合法人エコファームHOSOYAを設立（営農組織は法人に移行）出資金 円、参加農家 24 戸、1 農業生産法人
- ・現在農地集積面積 2455.80a（水稲作付 1869.00a 水田活用面積 586.80a）で経営（平成 28 年）している。
- ・全面積で海藻有機肥料を使った特別栽培コシヒカリを主体に夢ごち、ヒメノモチ、ソバを生産し、水田オーナー、契約栽培のお米屋さん、企業の社員食堂、ホテルなどの外食産業、環境貢献型商品としてカルビーのEVIショップ、道の駅にちなみ日野川の郷などに出荷している。
- ・経営規模の拡大に伴い、平成 27 年 3 月より常勤職員 1 名を雇用した。
- ・改善計画に基づいた高性能機械の導入を図ると共に、オペレーターの大型特殊免許取得に対し助成を行った。

2) 課題等

- ①地域の担い手として集落内で共存していた農業者が亡くなり、集落内で集積、委託作業を行っていた農地を引き受ける事となり大幅に面積が拡大した。
- ②現在集積した農地に未整備田（集落内）が 284.7 a、管理が必要な畦畔法面が 317.4 a 有り、不効率な生産条件となっている。
- ③お米の複数年契約販売が増加し、精米、配達（ゆうパックを含む）の業務が増えたことから新たな人員配置を含めた対応が必要となっている。

- ④法人の構成員の中に92歳を筆頭に80歳を超える農業者が営農(376.4a)されているが早晩離農される事が予測される事から対応が必要となっている。
- ⑤近年秋の天候不順により、作業効率、刈遅れによる品質の低下などの悪影響を受けており、高性能機械の導入が急がれる。特に大型コンバインの更新が必要となった。
- ⑥通年販売が増えお米の品質確保が必要であり、冷蔵貯蔵庫の導入が急がれる。
- ⑦急激な栽培面積の増加により新たな販路の拡大が急務である。

3) 前回プラン等での取り組み

- ①経営管理の合理化を図るため、会計事務所と連携し適正な経営に努めている。
- ②大型コンバイン4条刈を導入し、収穫から乾燥、粃摺り調整の一体的な作業体系を構築した。
- ③農業経営の適正な規模拡大と安定化を図る為、中間管理機構を活用し農地の集積を行った。
- ④改善計画に基づいた高性能機械の導入を図ると共に、オペレーターの大型特殊免許取得に対し助成を行い資格の取得を図った(3名)。
- ⑤都市と農村の交流を図ることにより相互の信頼関係を強化し、顧客の獲得を進めた。
- ⑥経営面積の拡大に合わせ、雇用者の年間を通じた仕事量を確保する為、通年販売に取り組み新規の販路を確保した。
- ⑦平成27年3月より新規の常勤職員を雇用し、経営体制の改善を図った。
- ⑧集落内で共存していた担い手が亡くなり、その受け皿になる事により担い手として地域の農業振興に貢献した。

2 生産経営等の改善内容(目標)と効果

1) 改善内容

- ①作業効率の向上と湿田対策のため、大型コンバイン5条刈を導入する。
- ②直販米の品質確保のため、低温貯蔵庫を導入する。

2) 事業の効果

- ①コンバインの能力、馬力アップを図り、湿田での作業に対応出来る事から適期の刈り取り作業が可能となり、作業効率の向上と品質の安定向上につながる。
- ②低温貯蔵の数量を確保する事により通年販売の顧客の増大が見込める。

3) プランの目標値

	現状 (H28)	1年目(H29)	2年目(H30)	3年目(H31)	目標年(H32)
水稲作付面積	水稲 1,868a	水稲 2,277a	水稲 2,277a	水稲 2,277a	水稲 2,653a

<所有機械>

補助事業 一覧 (平成 29 年 4 月現在)

	機械 施設名	型・㎡等	導入年月	事業名等
1	4条刈自脱型コンバイン	GC447・JWLLU	H18年5月1日	平成18年度チャレンジプラン
2	6条植乗用田植機	VP6XPWXGUK-F	H18年5月1日	同 上
3	畦畔自走散布機	KV-10	H18年5月1日	同 上
4	ホイルトラクター	US451VUQH2	H21年4月17日	平成21年度多様な集落営農支援事業
5	ロータリー	KJL190ST-4SDX		
6	サイバーハロー	TX300ETA-OS	H21年4月17日	同 上
7	掘り取り機	RTR301T-OS	H21年4月17日	同 上
8	格納庫(木造平屋修繕)賃貸借	木造平屋建(130.4㎡)	H21年4月17日	同 上
9	色彩選別機	SCS-16EH	H22年11月20日	農畜産業機械等リース支援事業
10	白米計量器	HS-1800	H22年11月20日	同 上
11	貯蔵庫	PR-20CC-30S	H22年11月20日	同 上
12	石抜き精米機	SRE3700	H22年11月20日	同 上
13	米乾燥・粳摺り・貯蔵施設	木造平屋建(123㎡)	H23年11月20日	平成23年経営体育成支援事業
14	乾燥機(山本製作所)	YHD-60DP	H23年11月20日	同 上
15	粳スロワー	SL40AP	H23年11月20日	同 上
16	消音集塵機	SC-201	H23年11月20日	同 上
17	荷受ホッパー	BHL-6D	H23年11月20日	同 上

18	籾摺機(ヤンマー)籾上合共	ACH500	H23年11月20日	同 上
19	石抜き機(大竹製作所)	S2200A	H23年11月20日	同 上
20	コスモバック	URC400	H23年11月20日	同 上
21	玄米キャッチャー(延長 250mm)	GC-36WR	H23年11月20日	同 上
22	フルクローラートラクター	CT451UQ	H24年3月 4日	平成24年がんばる 農家プラン
23	サイバーハロー	TX300ETA-Y	H24年3月 4日	同 上
24	フロント施肥機(グランドソワー)	NPS200	H24年3月 4日	同 上
25	コンバイン4条刈	AG470.JWU	H25年8月31日	平成 25 年がんばる 農家プラン

単独取得 一覧 (平成 29 年 4 月現在)

	機械 施設名	型・㎡等	導入年月	事業名等
1	フロント施肥機(グランドソワー)	NPS-200	H21年4月17日	単独取得
2	オート畔塗機 GAIA	XR750T-OS.ASK	H21年12月16日	〃
3	動力散布機	DMC601G	H21年11月20日	〃
4	運搬車	ECZ311D	H21年12月16日	〃
5	6条植え乗用田植機 (除草剤散布機共)	RG6XGU-ZF	H24年3月 1日	〃
6	乾燥機(山本製作所) (籾スロワー共)中古	YHD-45DP	H24年9月 1日	〃
7	色彩選別機 (レシプロオイルフリーコンプレッサ共)	CFP22CC-8.5D:AC200V	H25年9月 1日	〃
8	トラクターモア	1400	H26年7月日	〃

3 目標達成に向けての取組（年次別の行動計画）

項 目	内 容	H29	H30	H31	H32
経営管理の合理化	農業用資材の共同購入を図り生産コストの削減に努めると共に、高付加価値型農業を実施して水田オーナーの確保と新たな販路の拡大に取り組む。	○	○	○	
農業経営の規模拡大	引き続き中間管理機構を活用して農地の集積を行う。	○	○	○	
大型高性能機械の導入	コンバイン5条刈70PS・低温貯蔵庫(29年) フォークリフト(30年) 精米機 トラクター・スタブルカルチ(31年)	◎	◎	◎	
後継者の育成	常勤職員の確保。	○	○	○	
交流事業	春・秋に体験型イベントを行うと共に、主な消費地に出向き意見交換などの研修を行う。	○	○	○	

* ◎は県、町の支援が必要なもの（がんばる農家プラン事業）

4 機械・作物の年次別計画

年 度	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年(目標)
機械・施設 導入計画	コンバイン5条刈 低温貯蔵庫	フォークリフト 精米機	トラクター 作業機(スタブルカルチ)	
ソフト事業 計画	交流事業 春・秋に体験型イベントを実施して相互の信頼関係を構築する。	交流事業 春・秋に体験型イベントを実施して相互の信頼関係を構築する。	交流事業 春・秋に体験型イベントを実施して相互の信頼関係を構築する。	交流事業 春・秋に体験型イベントを実施して相互の信頼関係を構築する。
対象作物の 生産計画	水稲 2,277a 反収 480kg (内、オーナー水田 550a) ソバ 694 a 作業受託 田植え 250a 稲刈り 50a	水稲 2,277a 反収 480kg (内、オーナー水田 550a) ソバ 694 a 作業受託 田植え 250a 稲刈り 50a	水稲 2,277a 反収 480kg (内、オーナー水田 550a) ソバ 694 a 作業受託 田植え 250a 稲刈り 50a	水稲 2,653a 反収 480kg (内、オーナー水田 600a) ソバ 694 a 作業受託 0a

(注) () 書きには事業費を記入すること

5 支援事業の内容

(単位：円)

内容	事業費				負担区分
	H29 (計画)	H30	H31	H32	
コンバイン YH570. JWU OK デバイダーOK-YH570	9,884,500				県 1/3
低温貯蔵庫 GH-288	1,278,000				
フォークリフト 精米機		2,400,000 750,000			町 1/6
トラクター 作業機			7,872,500 690,000		事業主体 1/2
新品種の栽培試験(農試)					
密苗育苗と栽培試験 (ヤンマーアグリイノベーション)					

(注：ソフト事業についても記入すること)